水質日本一奪回に向け地域と共に地道に取り組む水環境学習

環境大臣賞　　福島県　猪苗代町立翁島小学校

かつて水質日本一だった美しい湖を取り戻す！―そんなスローガンを掲げ、平成 13 年度から地域と協力しながら水環境学習に取り組んでいる。同校の南側に広がる猪苗代湖は生活排水やごみなどにより水質が悪化し、近年、湖沼水質ランキングでランク外に転落した。それを機に水質環境改善活動がスタート。

まず全校を挙げて取り組んでいるのが「湖岸クリーン作戦」。空き缶や家庭用品などが点々と捨てられている現状を児童は目の当たりにした。どうしたら美しい湖を取り戻せるか、地域団体「猪苗代湖の自然を守る会」の鬼多見賢学芸員に助言を得ながら、自分たちができる小さなことからコツコツと取り組むようになった。そのひとつが、水質を悪化させるヨシ・ヒシ刈り取りと、水質を浄化させるアサザの栽培・移植活動。鬼多見氏は「**すぐに効果が現れる訳ではないが、ヨシを刈ったことで少しずつヘドロが減り砂浜が戻ってくるのを、子どもたちは実際に現場で確認して喜びを味わっている。こういう感動は机上では決して得られない**」と体験学習の意義を訴え続けている。昨年からは、刈り取ったヒシやヨシを堆肥化し畑で野菜を栽培収穫するなど、資源循環の輪も構築中だ。学んだ成果は、児童が地域の行事で発表し、住民や他校に環境美化の協力を呼びかけている。野口英世の母校としても知られる同校。遺訓のひとつである「忍耐」を支えに、「水質日本一」奪回に向けた地道な積み重ねが続く。

写真上：保護者と行う湖岸クリーン作戦、写真上から 2 番目：学校で栽培したアサザを湖に移植する様子、写真上から 3 番目：水質を悪化させるヨシ刈りを自発的に行う児童、写真下：学習発表会で地域に環境美化を訴える 5 年生

福島県猪苗代町立翁島小学校
学校長：橋本千賀子
生徒数：86 名（2012 年 11 月末現在）・全 6 学級
住所：福島県耶麻郡猪苗代町字三ツ和家北 906 番地
電話：0242-65-2311
アクセス：JR「猪苗代」駅より車で 10 分